

## 「惑星の定義」はどう報道されたのか？－報道の採点評価：科学とジャーナリズムの視点から－

How was the Definition of Planet reported in the media? -Evaluation of quality and the relation between science and journalism-

# 渡部 潤一 [1]

# Jun-ichi Watanabe[1]

[1] 国立天文台・天情セ

[1] PR Center, Nat.Astron. Obs. Japan

昨今のあるある大事典など、一部のTV番組の科学データ捏造には報道倫理の欠如を感じる場所であるが、われわれ科学者コミュニティにも責任がないとは言えない。取材を受けた科学者側が、間違っただけあるいは誤解された報道を見ても「マスコミはそんなものだ」と放置する例が文系研究者に比べて多いからである（学術成果の広報と報道に関するシンポジウムⅡ「分野毎の研究者の報道に対する意識差とその原因」 渡部潤一）。発信側としては、その意図が十分正確に伝わっているかどうかをチェックすることも社会的責任ではないか、と考える。

今回の「惑星の定義」も、その必要性や科学的背景なしに報道される例があり、憂慮した国立天文台では、「正しく、誤解なく報道しているか」という視点で、29人の台内職員が10点評価を、定義が採択された8月25日の朝刊夕刊25本の新聞記事および、その前後の報道系番組内での報道8本について、採点評価を行った。この結果と、そこから見えるいくつかの問題点について報告する。